都市交通研究室

1. はじめに

都市交通研究室は、都市交通に関する今日的な課 題に対応しつつ、将来の望ましい目標像を達成する ための諸々の施策やそのパッケージ化、及び関連す る検討手法や技術について調査・研究に取り組んで います。検討対象は、広域都市圏からコミュニティ までの多様な空間スケールに及びます。今後も時代 が要請するテーマを的確にとらえ、豊かな生活の実 現を支援する調査・研究を進めていきたいと考えて います。

2. 主な研究活動

(1) 受託業務

国や地方の行政機関や民間企業から調査研究業務 を受託して活動しています。主な委託先は次の通り です。

- · 国関係
 - 国土交通省(都市局、道路局、総合政策局、九州 地方整備局、国土技術政策総合研究所)
- ·地方自治体 さいたま市、藤沢市、町田市、他
- · 高速道路関係 首都高速道路株式会社、名古屋高速道路公社
- · 民間企業 三菱地所株式会社、大丸有駐車協議会

(2) 学会活動・外部委員会等

土木学会、都市計画学会、交通工学研究会、日本 モビリティ・マネジメント会議 (JCOMM) の研究 発表会や各種行事に参加しています。

また、交通まちづくりの実践研究小委員会(土木 学会)、教育企画・人材育成委員会土木と学校教育 会議検討小委員会(土木学会)に委員として参画し ています。

(3) 自主研究活動

受託業務のほかに、自主研究活動を行っています。

これまで次のような自主研究を実施してきました。

- ・郊外生活に提供されるべきモビリティと公共交通 の役割に関する調査研究
- ・学校教育におけるモビリティ・マネジメントの実 施に関する研究 他

3. 主な研究テーマ

(1) 都市交通に関する施策展開のあり方に関する 研究

将来に向けて、どのような交通施策を展開すべき かについて調査研究を行っています。

- ・ハード整備とソフト施策の連携
- 土地利用施策と交通施策の連携
- ・モビリティ・マネジメント (居住地 MM、事業所 MM、学校教育 MM)

(2) 都市交通に関する実証的な計画策定方策

上記の各項目の知見を活用し、実際のフィールド において、交通計画の策定を行っています。

複数の地方自治体を対象に、交通マスタープラン や総合都市交通戦略などの総合都市交通体系に関す る計画策定、コミュニティバス導入や駐車場整備計 画等の個別計画策定に取り組んでいます。

(3) 社会潮流にあった交通需要予測分析

合理的な意思決定を支援する上で、どのような データを収集してどのような交通需要の予測・分析 を行うことが適切であるかについて調査研究を行っ ています。

(4) 都市・交通に関わる海外情報の収集整理

上記の各項目について、海外情報を収集し、我が 国の都市・交通の取り組みへの適用可能性や、我が 国の課題について調査研究を実施しています。